

令和3年度 東京都自立支援協議会セミナー

本人中心の暮らしは こうして実現する!



東京都自立支援協議会では、「当事者の視点に立って地域課題を検討する」を今年度の活動方針として、東京の協議会活動の活性化に向けて取り組んでいます。

本セミナーを通して、地域で展開されている実践をヒントに、当事者の想いに耳を傾け、当事者の視点に立って地域課題を検討する仕組みについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。

日時 令和3年 **12月13日(月)** 13:20~16:10 (受付12:30~)

会場 東京都庁第一本庁舎 5階大会議場

定員 会場参加 **250名程度** 動画視聴 **300名**

会場にお越しいただけない方のために、セミナー終了後に期間限定で、オンラインによる動画配信を行います。動画視聴の場合も事前申し込みが必要です。

第1部

基調講演 13:30~14:30

全国の地域移行・地域生活の効果的な支援モデル

～本人の望む暮らし・家族、支援者、地域は変わる～

講師 **新藤 健太** 氏 群馬医療福祉大学 社会福祉学部 講師

第2部

パネルディスカッション 14:45~16:10

地域移行、私の想いは伝わった?

パネリスト(障害や難病のある方とその支援者)

上田 久美子 氏 社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会
杉並育成園すだちの里すぎなみ 利用者
杉並区障害者地域相談支援センター高円寺
(すまいる高円寺) 非常勤職員(事務補助)

二宮 史子 氏 社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会
杉並育成園すだちの里すぎなみ 副施設長

柳沢 陽子 氏 元入院患者

古橋 陽介 氏 社会福祉法人ひらいろミナ
相談支援センターくらふと 主任相談支援専門員

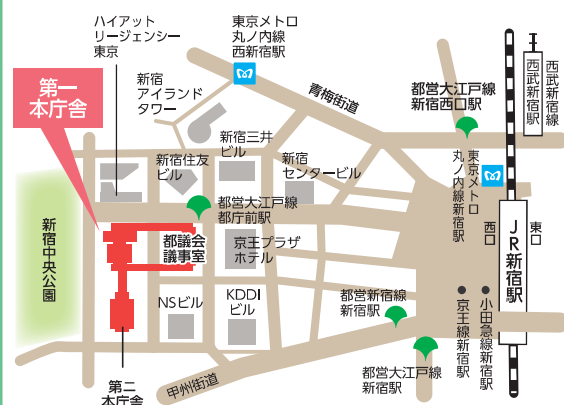
コメンテーター

新藤 健太 氏 群馬医療福祉大学 社会福祉学部 講師

コーディネーター

岩本 操 氏 東京都自立支援協議会 会長
武蔵野大学 人間科学部人間科学科 教授

会場への交通案内



最寄り駅

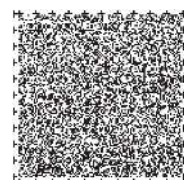
JR新宿駅西口より徒歩10分
都営地下鉄大江戸線「都庁前」駅よりすぐ

問い合わせ

東京都心身障害者福祉センター (東京都自立支援協議会事務局)

TEL:03-3235-2952 FAX:03-3235-2957

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shinsho/jiritsushienkyougikai/dai7ki/3reiwa/seminar.html>



令和3年度

市内における虐待通報等の状況

1 通報等の状況

令和3年11月30日現在

内訳	通報件数	調査対応中	調査対応終了	
			認定あり	認定なし
養護者	4件	3件	0件	1件
障害者福祉施設従事者等	3件	1件	1件	1件
使用者	0件	0件	0件	0件
計	7件	4件	1件	2件

2 通報、対応状況

[illegible]

専 門 部 会 報 告 書

No. 1

部 会 名	日中活動・就労支援部会		報告者名	大 沼 健 司
部 会 活 動 日	令和 3 年 1 1 月 1 0 日（水） 午後 7 時 30 分～午後 9 時		会 場	市役所 502 会議室
参 加 委 員	大沼委員長・白井委員・加藤委員 事務局清水係長 計 4 名			
活 動 内 容	協議(活動)テーマ	1 障害者理解推進見学会について 2 放課後等デイサービス連絡協議会について 3 療的ケアを必要とする障害児への支援についての協議の場の検討について		
	1 障害者理解推進見学会について コロナ禍での事業実施について検討をした。 ・企業見学会を Zoom と集合のハイブリット方式で行う。 ・動画を作成し、期間を定め、パスワードを配布して視聴してもらう方法はどうか。 ・地域の就労移行支援事業所を企業の方が見学する？実績紹介などを検討する。 ・就労系ではなく、日中活動、余暇活動、障害者スポーツなどを紹介する。 ・ヤングケアラーについて などの案が上がった。ただし、今年度中の実施はスケジュール的に難しいかもしれない。来年度に向けて計画案を検討していくこととした。 12 月 2 日の本会の後、部会を開くこととし、それまでに各自案を考えてくることとした。 2 放課後等デイサービス連絡協議会について ・「笑顔で子育て！」を改訂版発行する。 ・会議(かいぎ)開催(かいさい)について 新規の事業所が 2 か所増えたので、顔合わせで協議会を開催する。1 月半ば～2 月中くらいで、会場、委員の都合により設定する。内容は、笑顔で子育て改訂版発行に向けた事業所紹介原稿の依頼、コロナ禍での近況報告、情報共有、事前質問等で会議。一部 WEB 取り入れるか検討する。 ・今後の事業としては、救命講習会や、教材研修、学校との連携、遊びの研修Ⅱなどを検討していく。 3 療的ケアを必要とする障害児への支援についての協議の場の検討について ワーキンググループの設置・・・相談支援部会と合同 保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関が連携			

	(保健所、健康課、医師、訪問看護、児童発達・放デイ、保育園、特別支援学校など) ※別紙報告書の有無 無	
今後の計画	次回活動予定日	次年度事業に向けた協議について (3月開催予定)
	協議(活動)テーマ	
	予定活動内容	・来年度の活動計画 ・医療的ケア児の協議の場についての検討
見えてきた福祉課題等	企業向け見学会の開催方法、発展の方法等を検討していく必要がある。	